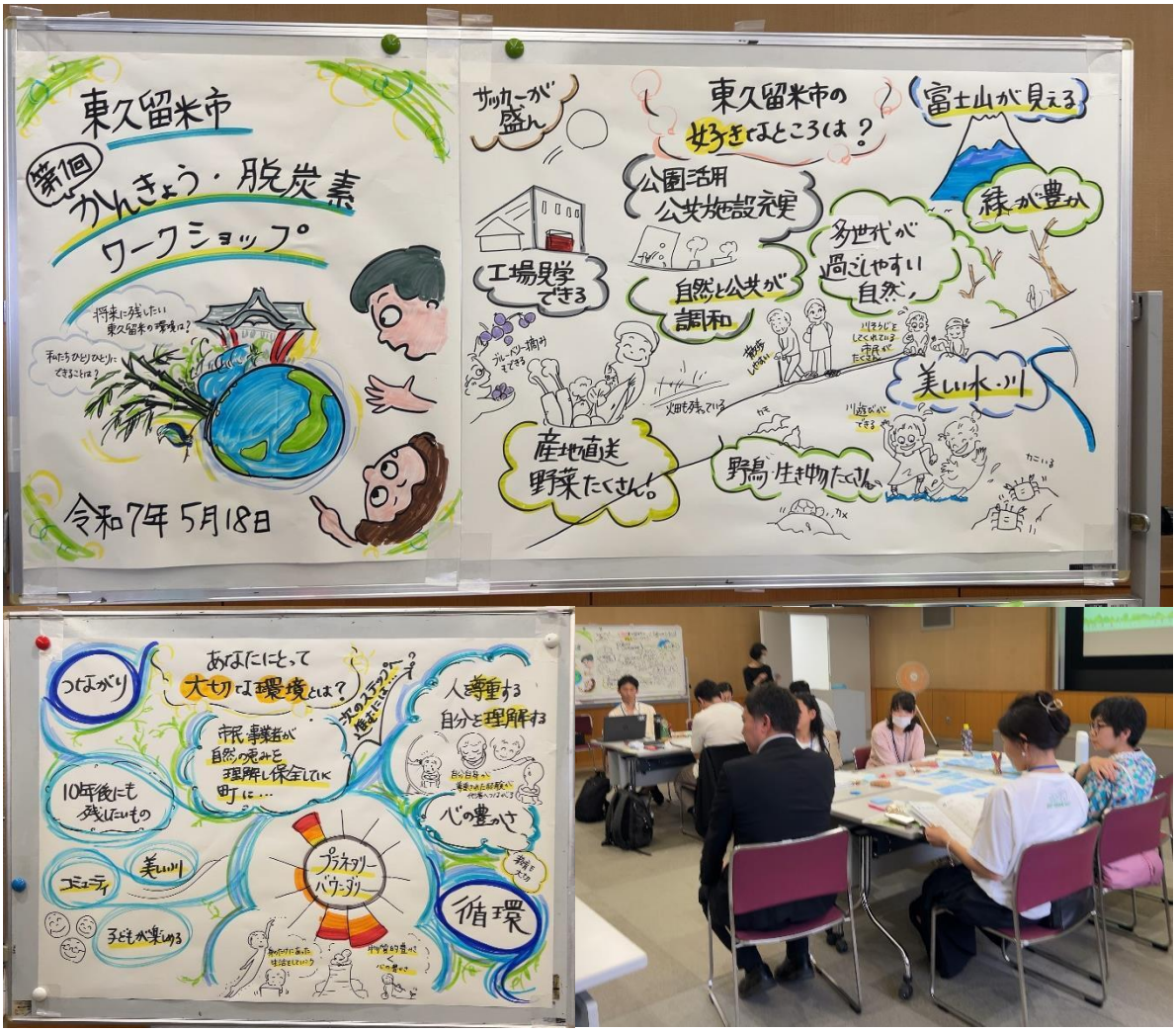
資料-5

令和７年度第２回東久留米市環境基本計画等検討部会　資料

第1回かんきょう・脱炭素ワークショップの実施概要

1 開催概要

開催日：2025 年５月 18 日（日）
会　場：東久留米市役所７階 701 会議室
概　要：参加者８名（市内在住、在勤、在学の中学生以上を対象、第１回･第２回のＷＳに両方とも参加できるが参加条件）
目　的：次期環境基本計画策定の大方針となる「将来の環境像」や、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向けた議論の参考とするため実施しました。



2 主な意見

①まち（東久留米市）の好きなところは？	
No.	主な意見
1	東京でも有数の湧水がある
2	緑が豊かで自然が多い
3	地場野菜が多くあり、農家さんの野菜が身近（直売所もある）
4	希少な植物や動物、鳥、魚などがいる
5	川掃除や環境を調査している市民が多い
6	景色がきれいで富士山などが見える
7	公共施設が充実している
8	公園などの市施設が多く、子どもたちが遊べる環境がたくさんある
9	川沿いなどに散歩やジョギングを楽しめるコースが整備されている
10	住宅地の近くにも緑がまだ残っている

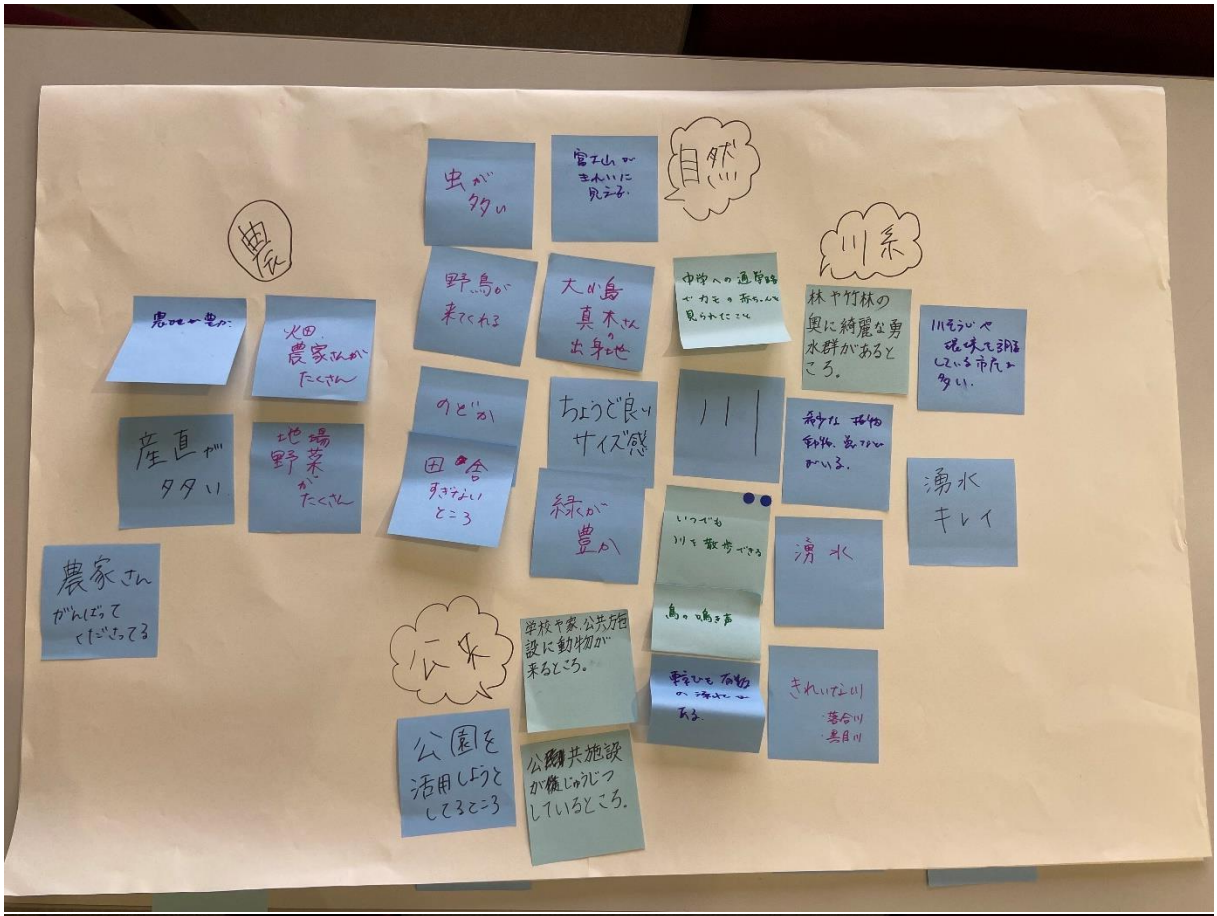
②あなたにとって大切な環境とは？	
No.	主な意見
1	身近にふれあえる多様な自然があること
2	自分の能力を自由に発揮できる環境
3	夏に子どもたちが外でのびのび遊べる環境　※熱中症を気にせずに
4	地場産野菜など入手しやすい環境
5	特徴的なシンボルを作る（ホタル・農作物・水あそび場・散歩道）
6	環境について学び、環境への取り組みについて理解する
7	環境保全をビジネス化する（コーヒーバスや湧き水等の販売）
8	環境・社会に配慮したもの、サービスを選ぶ
9	市が主体でなくても市民で意見交換していく
10	市の魅力をより知る機会をつくる

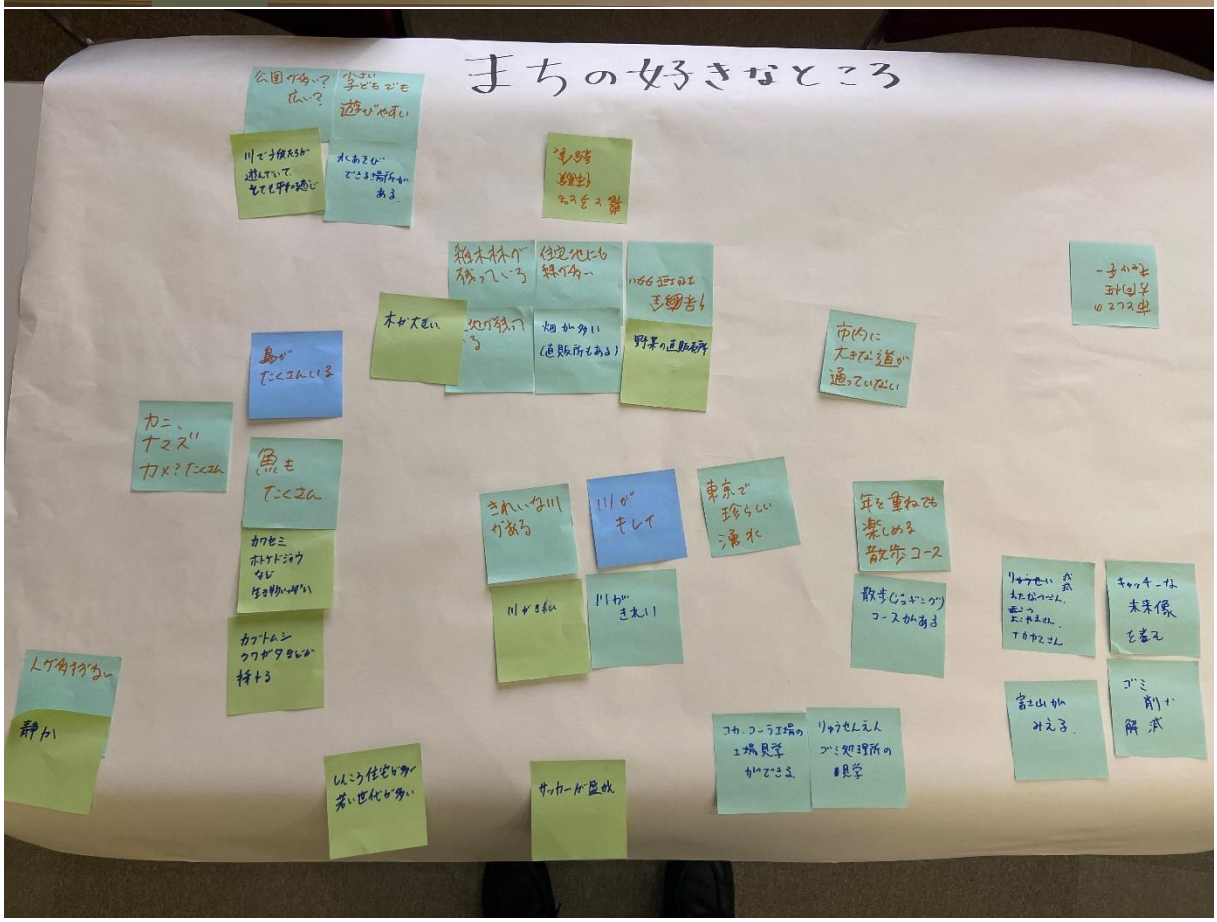
③将来の環境のためにわたしたちができることは？	
No.	主な意見
1	東久留米や、それ以外の環境配慮・環境づくりの事例やビジョンにもっと詳しくなる
2	学校教育や保育園・幼稚園などで、生きた自然の大切さを学ぶ機会をつくる
3	地域のつながりの中で、まちの自然環境を大事にする
4	ごみを分別する、リサイクルしやすいごみの出し方
5	調査を経験し現状を明らかにし、市民と共有する
6	地球からの恵みの範囲内で豊かな心を持って暮らす
7	資源やお金を地域で循環させる
8	食（農）からゴミまでの循環
9	市民・事業者がプラネタリーバウンダリーを理解する
10	なるべく旬の野菜、地場野菜を食べる・買う

３ 総括

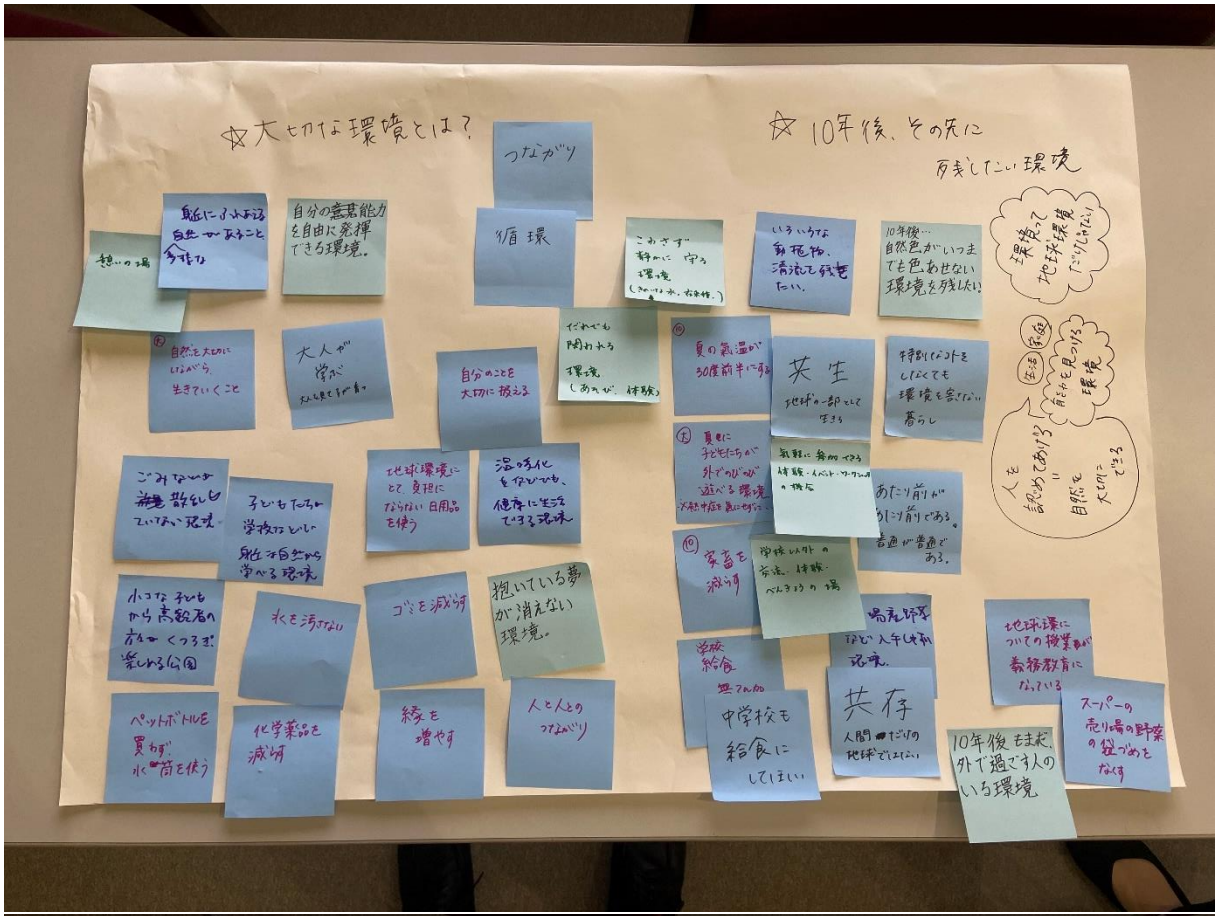
・第二次環境基本計画については「東久留米市らしさ」ということにスポットを当てて様々な議論を行い、全ての自治体にいえるような事項だけでなく、東久留米で最も重要と考えられている「水と緑」といった地域特有の資源が表現できるようにした。
・東久留米市にいい環境があるということを市民の皆さんが認識されているが、過去の歴史のなかでみると失いそうな時期があった。これについては、先人たちのたゆまぬ努力でその地域環境が残されてきた。そのような想いを東久留米市らしさと考え、第二次環境基本計画へ反映させた。
・本日のワークショップでも意見として出たが、環境というものは自然環境以外にも様々なものがあり、皆さんそれぞれで感じる環境についてもいろいろな種類があると思う。
・東久留米市の方が自分たちの感覚や言葉で、東久留米市の残したいことや大事にしている部分を環境基本計画へ反映、表現させていきたいと考えている。
・本日のワークショップで様々な意見を頂いたが、これまで環境審議会や検討部会で議論してきた内容や考えについては、同じような方向性であったと認識である。この環境基本計画については市民の方々のために作るものであるため、様々な意見を積極的に出していただき、第三次環境基本計画策定に向けてよりよいものを作り上げていきたいと考えている。

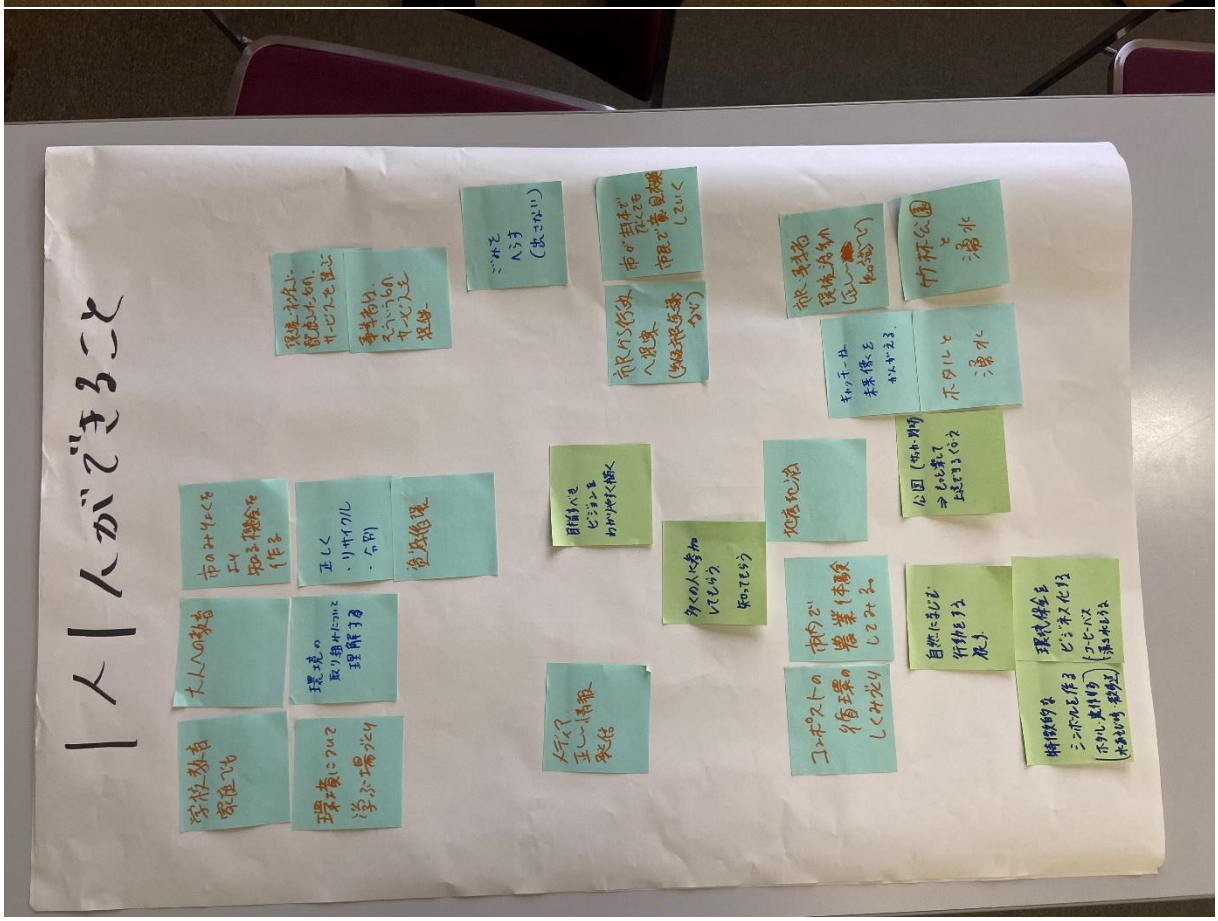
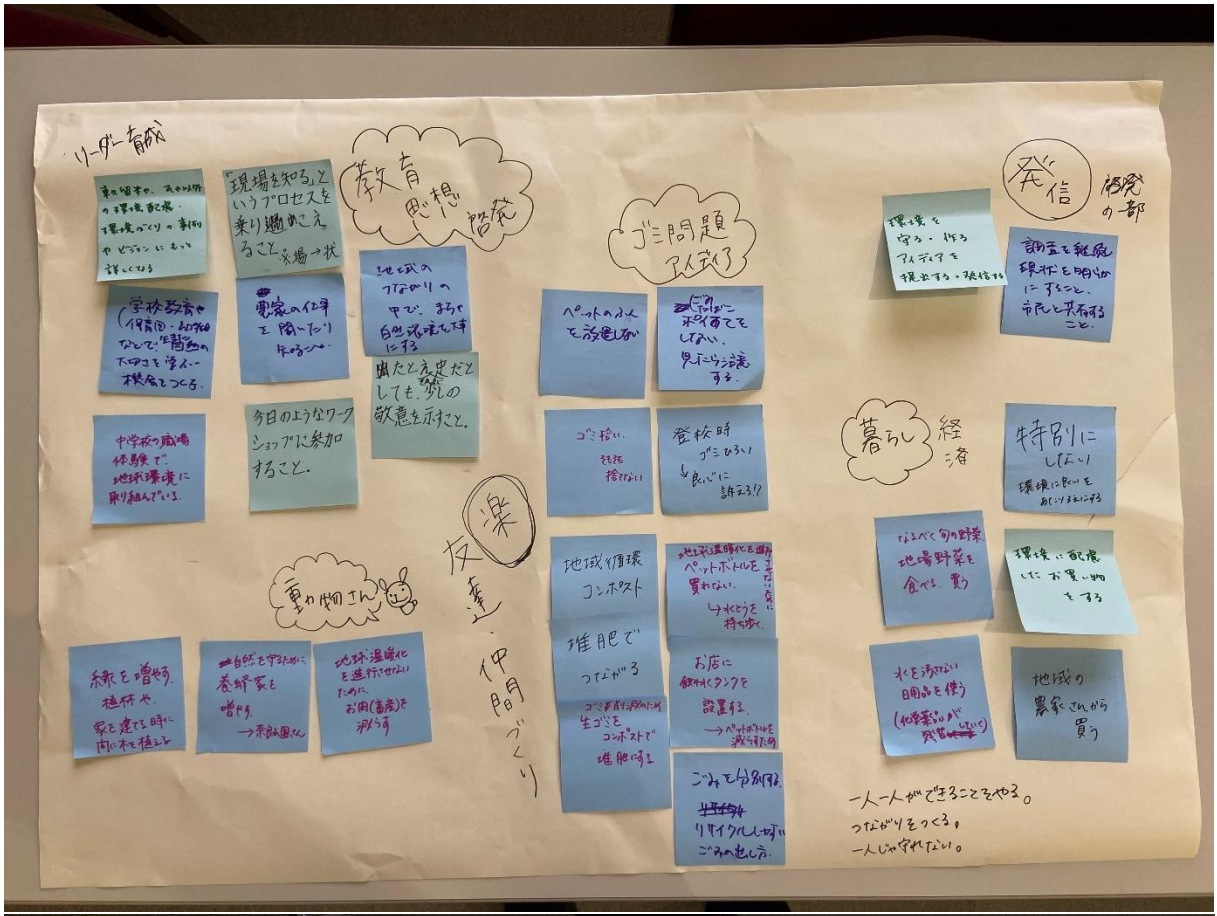
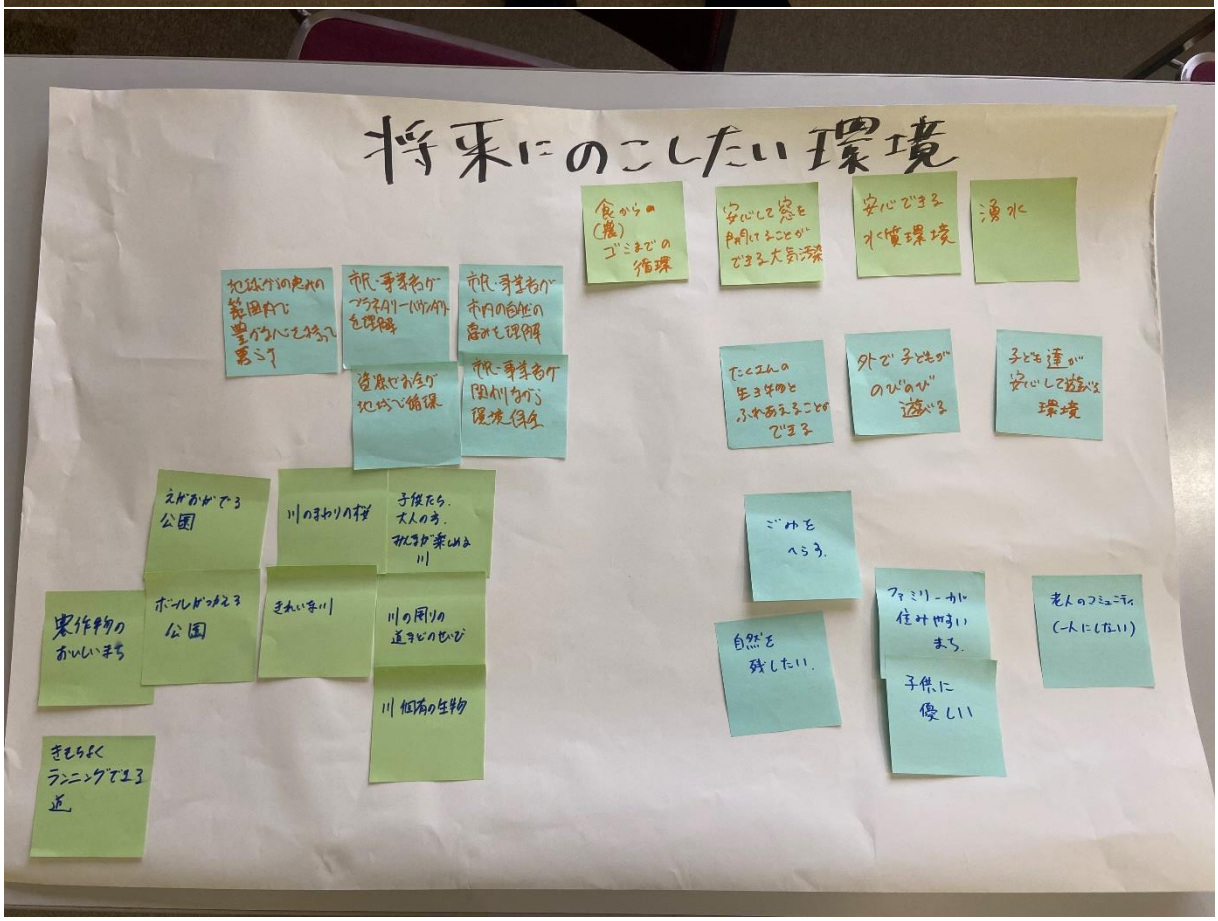
（参考：①まち（東久留米市）の好きなところは？）





（参考：②あなたにとって大切な環境とは？）





（参考：③将来の環境のためにわたしたちができることは？）